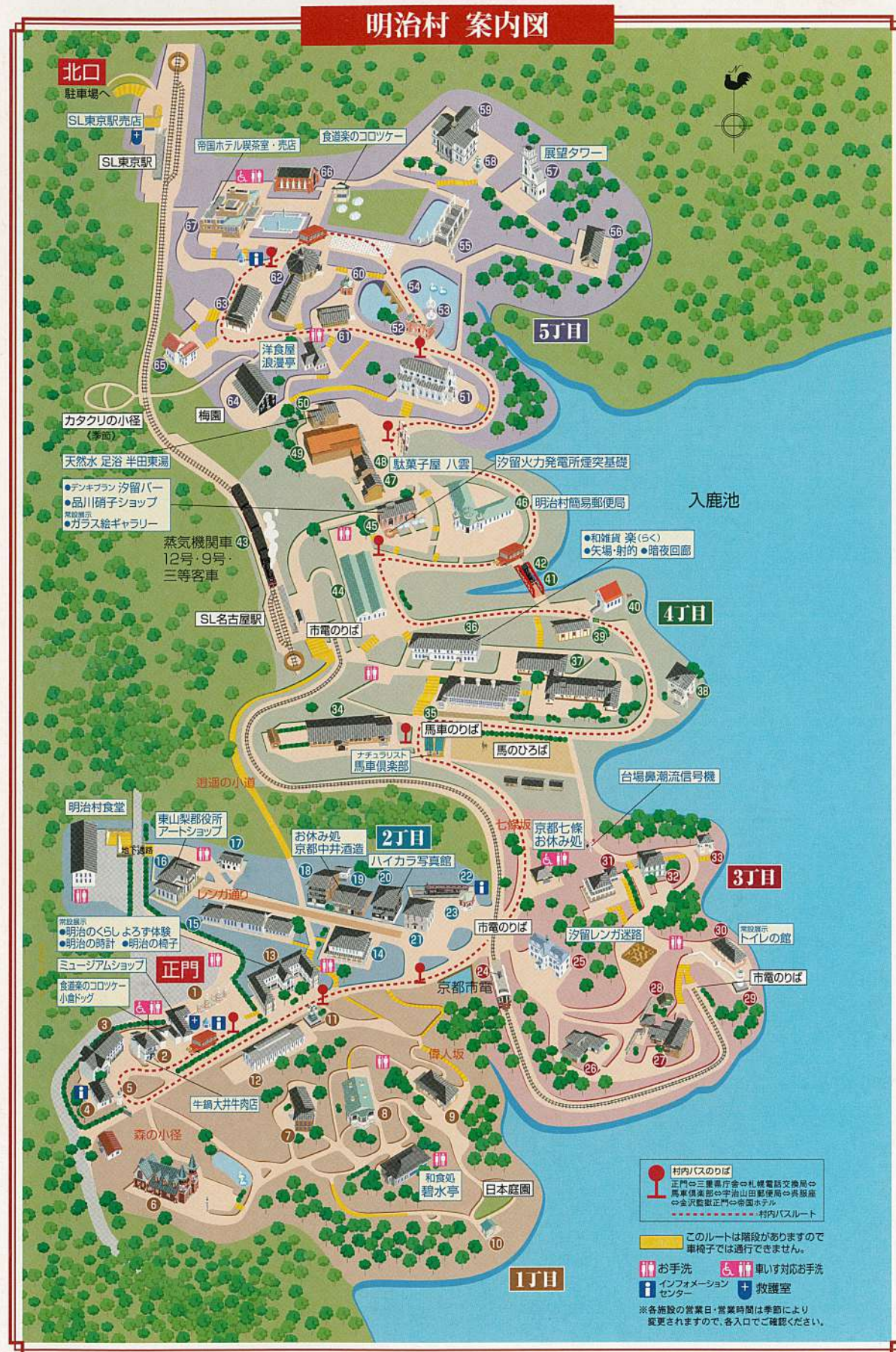


# 明治村 だより

## 春号 Vol. 39

### 目次

- 明治村40周年を迎えてご挨拶 小沢昭一 ……2
- 芝川邸復原工事 西尾雅敏 ……4
- 明治村グラフィティ ……6
- 百年前立体写真館 ……8
- 催しものご案内 ……9
- A La Meiji-mura ……11



- 5JH 51番地~67番地**
  - ① 聖ザビエル天主堂
  - ② 金沢監獄正門
  - ③ 小郡沙美島燈台
  - ④ 天童眼鏡橋
  - ⑤ 隅田川新大橋
  - ⑥ 大明寺聖パウロ教会堂
  - ⑦ 川崎銀行本店
  - ⑧ 皇居正門石橋飾電燈
  - ⑨ 内閣文庫
  - ⑩ 東京駅警備巡査派出所
  - ⑪ 前橋監獄雑居房
  - ⑫ 金沢監獄中央看守所 監房
  - ⑬ 宮津裁判所法廷
  - ⑭ 菊の世酒蔵
  - ⑮ 高田小照写真館
  - ⑯ 名鉄岩倉変電所(岩倉ホール)
  - ⑰ 帝国ホテル中央玄関(ポトマス契約調印テーブル)
- 4JH 34番地~50番地**
  - ⑱ 第四高等学校美術室[無声室]
  - ⑲ 日本赤十字社中央病院病棟
  - ⑳ 歩兵第六聯隊兵舎
  - ㉑ 名古屋新成病院(後継館文化財)
  - ㉒ シアトル日米福音教会
  - ㉓ ブラジル移民住宅
  - ㉔ ハワイ移民集会所
  - ㉕ 六郷川鉄橋
  - ㉖ 尾西鉄道蒸気機関車1号
  - ㉗ 蒸気機関車12号・9号・三等客車
  - ㉘ 鉄道寮新橋工場(機械館) リング精紡機(重要文化財) 菊花御紋車付平削盤(重要文化財)
  - ㉙ 工部省品川硝子製造所
  - ㉚ 宇治山田郵便局(重要文化財)
  - ㉛ 本郷喜之床
  - ㉜ 小泉八雲避暑の家
  - ㉝ 呉服座(重要文化財)
  - ㉞ 半田東湯
- 3JH 24番地~33番地**
  - ㉟ 京都市電
  - ㊱ 北里研究所本館(医学館)
  - ㊲ 幸田露伴住宅[鶴牛庵]
  - ㊳ 西園寺公望別邸[坐漁荘]
  - ㊴ 茶室「亦楽庵」
  - ㊵ 品川燈台(重要文化財)
  - ㊶ 皇島燈台附属官舎(重要文化財)
  - ㊷ 長崎居留地二十五番館
  - ㊸ 神戸山手西洋人住居
  - ㊹ 宗教大学車寄
- 2JH 14番地~23番地**
  - ㊺ 千早赤阪小学校講堂
  - ㊻ 第四高等学校物理化学教室
  - ㊼ 東山製薬役所(重要文化財)
  - ㊽ 清水医院
  - ㊾ 東松家住宅(重要文化財)
  - ㊿ 京都中井酒造
  - ㊽ 安田銀行会津支店
  - ㊽ 札幌電話交換局(重要文化財)
  - ㊽ 蒸気自動車(鉄道記念物)
  - ㊽ 京都七條巡査派出所
- 1JH 1番地~13番地**
  - ① 第八高等学校正門
  - ② 大井牛肉店
  - ③ 三重県尋常師範学校蔵持小学校
  - ④ 近衛局本付馬舎
  - ⑤ 赤坂雜宮正門哨舎
  - ⑥ 聖ヨハネ教会堂(重要文化財)
  - ⑦ 学習院長官舎
  - ⑧ 赤坂從道邸(重要文化財)
  - ⑨ 森鷗外夏目漱石住宅
  - ⑩ 東京盲学校車寄
  - ⑪ 二重橋飾電燈
  - ⑫ 鉄道局新橋工場
  - ⑬ 明治天皇聖慮皇太后御料車(鉄道記念物)
  - ⑭ 三重県庁舎(重要文化財)

『明治村 だより』 第40号発行のお知らせ  
 発行時期 平成17年7月(予定)  
 申込方法 「明治村だより」第40号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料140円の切手とともに封書にてお申し込み下さい。

平成17年3月10日発行  
 『明治村だより』第39号(平成17年 春)  
 発行 博物館明治村  
 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地  
 電話 (0568) 67-0314  
 ◎ホームページ <http://www.meijimura.com>  
 製作 大日本印刷株式会社

# 明治村四十周年を迎えてのご挨拶

## なつかしの 明治村ポスター



昭和40年（1965）春  
「博物館明治村公開」



昭和40年（1965）明治村開村「明治村だより」



昭和40年（1965）秋  
「灯台記念日と灯台展」



昭和41年（1966）秋  
「明治村特別資料展」



昭和41年（1966）春  
「夏目漱石展」



昭和42年（1967）春  
「漱石・鶴外・道遥三文豪展」



昭和42年（1967）秋  
「第一回明治村茶会」

# 芝川邸復原工事

博物館明治村建造物担当部長 西尾雅敏



創建時の芝川邸

今年、新しい文化財建造物の復原に踏み切ることにいたしました。十年前に起こった阪神大震災の時まで兵庫県西宮に建っていた住宅「芝川邸」です。

芝川邸は明治四十四年に創建された木造二階建ての洋風郊外住宅で、大正、昭和を通して関西建築界を指導してきた京都帝国大学教授であり建築家であった武田五一博士の設計になり、洋風を基調とし、和風の住まい方、意匠も採り入れた近代住宅の先駆的で且つ美しい建物です。阪神大地震を受けて、住み続けることを断念した所有者から、明治村へ譲られ、解体して保管されていきました。震災被害を蒙ったとは言うものの、建物の主要構造はほぼ健全でした。外付けで立っていたレンガ造の煙突こそ倒壊しましたが、骨組である木造の軸部や造作は弛みこそしましたが、殆ど損害を受けず、左官壁が脱落した程度でした。このことは、地震国日本に配慮した武田博士の考えによる近代木構造技法、或いは基礎構造が大変優れていた事の証左と思われまます。

旧所在地である西宮郊外の甲東園一帯



ベランダ下からの見上げ（昭和初年の頃）

います。

玄関から回り階段を昇った二階は一転し、茶室を含めて本格的な和室の間取りでまとめられ、できる限りの方向に開放的な出窓をめぐらしています。東に大阪の町を遠望し、北には六甲へ連なる山並みを見ることができました。

遠くから見た姿では、大きな屋根と屋根窓、煙突が目立ちます。急傾斜の切妻屋根は、合掌造りの姿にも似ていますが、広く開いたベランダの庇と合わせて見れば、アメリカ西部開拓時代のサルーンをも連想させ、右へ回り込んで見上げれば、二階に明るく大きな出窓が目立ち、その風景は谷川を見下ろす瀟洒な旅館の姿とも見えます。

明治四十四年、西暦1911年と言えば、ヨーロッパではアール・ヌーボーの波が一応落ち着いた頃なのですが、西洋建築二千年の成果をまとめ導入していた日本では、近代の建築意匠をも採り入れる努力がされますが、必ずしも情報が早くはなく、試行錯誤であったと思われます。二十世紀初頭ヨーロッパに留学していた武田五一自身としても、三十代最後の油の乗った時期にあたり、肌を感じて見てきたアール・ヌーボーを始めとする世界的な近代建築意匠を日本の住宅に如何に採り入れるかを具体的に示そうと努力した作品といえます。ヨーロッパに外観の似通った建物を捜してみると、近代建築の先駆けとなった、英国はモリスの「赤い家」、またスコットランドはマッキントッシュのグラスゴー美術学校のファサードに見出すことができます。木材の持つ繊細な直線性を生かした数奇屋の意匠とヨーロッパ近代の幾何学的な形態を融合或いは対比させ、結果としてア



一階大ホール（震災前）



ホールから階段方向（震災後）

ール・デコを先取りした姿に結晶したとも言えます。

移築復原の場所は、明治村村内の中ほど、北里研究所本館東の台地で、周辺には、坐漁荘、蝸牛庵、長崎居留地25番館、神戸西洋人住居など秀逸な住宅が移築公開されている地域です。この芝川邸を追加することによって、明治初年から昭和初年までの日本における住宅の変遷をよく理解できるものと思われまます。

当館が新しい移築復原工事に着手するのは、およそ十年ぶりです。決してゆとりが生まれたわけ

ではありません。今、新しい形の復原事業を模索しています。従来のように、全ての仕事を請負会社に発注するのではなく、建物復原作業に善意の人々の力を借りよう。建築を愛する人々の手で復原を進めよう。そのように願って、ボランティアによる作業とプロフェッショナルによる作業を同時進行させながら、この建物の復原を進めていこうと考えています。既に、ボランティア希望の人々は集まって来ました。時間は掛かるでしょうが、昔のように人の手による建築を目指しております。

明治村開村3周年 明治百年記念公演ポスター  
「人形劇明治はるあき10景」



当時の皇太子殿下、  
同妃殿下行啓される



「200万人目の来場者に記念品」  
のポスター



京都市電開通



明治村開村  
昭和40年3月

地鎮祭 昭和38年4月25日



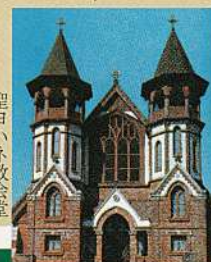
### 明治村ヒストリー

●昭和35年（1960）頃  
谷口吉郎氏（当時・東京工業大学教授）  
と土川元夫氏（当時・名古屋鉄道副社  
長）は、同窓会で「明治時代の素晴ら  
しい建築物がみすみす破壊されてしま  
うことは実に惜しいことだ」と明治村  
の構想を話す。

●昭和36年（1961）10月  
明治村設立準備打ち合わせ会開催。  
初代村長に徳川夢声氏が就任。

●昭和38年（1963）  
4月 地鎮祭がとり行われる。

●昭和39年（1964）  
11月 博物館認可おける。



聖ヨハネ教会堂

●昭和40年（1965）  
3月18日 博物館明治村開村公開。  
西郷従道邸、学習院長官舎、品川燈台、  
菅島燈台附属官舎、名古屋衛戍病院、  
聖ヨハネ教会堂、森鷗外・夏目漱石住  
宅、札幌電話交換局、歩兵第六聯隊兵  
舎、三重県庁正門（昭52年解体保管）、  
東松家住宅、第四高等学校物理化学教  
室、東山梨郡役所、安田銀行会津支店、  
二重橋飾電燈の15件を移築公開。

●昭和41年（1966）  
5月 入場者が100万人となる。

10月 鉄道局新橋工場移築公開。明治天皇御  
料車・昭憲皇太后御料車公開展示。

●昭和42年（1967）  
3月 三重県庁舎、長崎居留地二十五番館移  
築公開。

6月 京都市電運転開始  
入場者数が200万人となる。

11月 第一回明治村茶会開催。

●昭和43年（1968）  
3月 当時の皇太子殿下、同妃殿下行啓。

10月 明治百年記念映画「明治はるあき」  
製作。  
大井牛肉店移築公開。同時に大井牛肉  
店で明治時代の牛鍋屋を再現し営業を  
開始。

●昭和44年（1969）  
3月 鉄道寮新橋工場・機械館、京都七條巡  
査派出所移築公開。

5月 宇治山田郵便局移築公開。

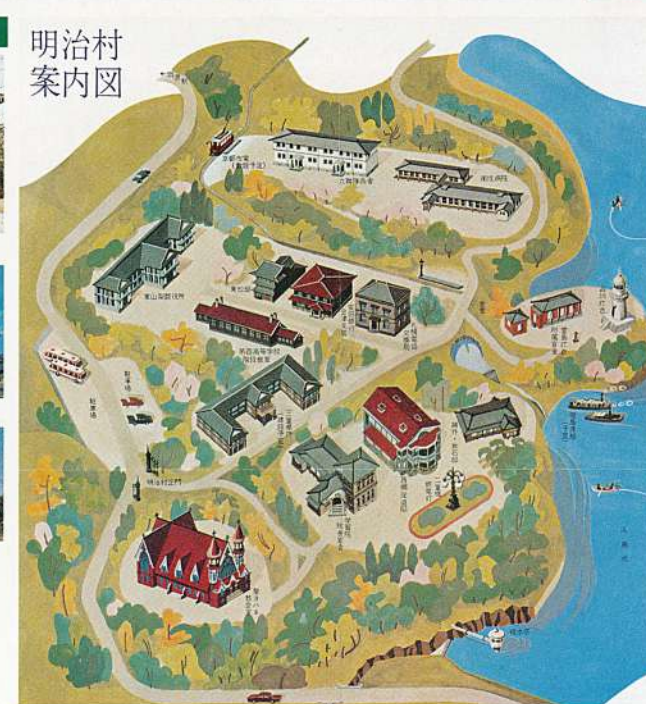
9月 ハワイ移民集会場移築公開。



昭和43年頃の村内案内図



昭和41年頃の村内案内図



開村当時の村内案内図



昭和44年公開  
ハワイ移民  
集会場  
鉄道寮新橋工場・機械館  
京都七條巡査派出所



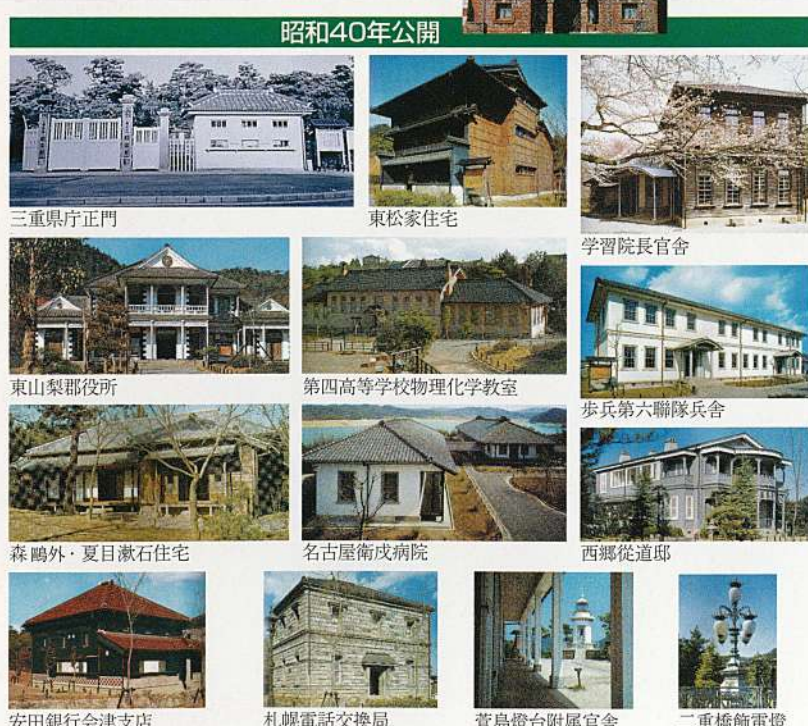
昭和43年公開  
大井牛肉店



昭和42年公開  
三重県庁舎  
長崎居留地二十五番館



昭和41年公開  
鉄道局新橋工場



昭和40年公開  
三重県庁正門  
東松家住宅  
学習院長官舎  
東山梨郡役所  
第四高等学校物理化学教室  
歩兵第六聯隊兵舎  
森鷗外・夏目漱石住宅  
名古屋衛戍病院  
西郷従道邸  
安田銀行会津支店  
札幌電話交換局  
菅島燈台附属官舎  
品川燈台  
二重橋飾電燈

# 百年前 立体 写真館

## 立体写真とは・・・

人は普通左右の二つの目で物を見ています。それぞれの目は若干異なる角度から一つの物を見ていることになり、その若干の差を視差といい、人は左右の視差があることで、立体感や遠近感を感じることが出来ます。それを写真に応用したのが立体写真です。人の目とはほぼ同じの間隔の位置に二台のカメラもしくはレンズを置いて同時に撮影した二枚の写真をそれぞれの目で見ると、実際の風景や物を見ているのと同じ状態を再現することができるのです。

## 立体写真はいつから・・・

立体写真は、一八三九年にフランス人画家ダゲール (Daguerre, L.) が銀板写真を発明するやいなや、先に述べた視差を利用した写真を用い、銀板立体写真として登場し、写真技術が銀板から湿板、乾板、ロールフィルムと発展するに伴い、紙焼写真でも鑑賞されるようになり、今からちょうど百年前に大流行を迎えました。日本でも明治二十三年(一八九〇)に東京で開催された内国勸業博覧会以降に、立体写真はブームとなり、上流階級の人々の間で愛好され、後に各地のみやげ物として大量に販売されるようになりました。しかし、一九二〇年以降、写真を一枚一枚紙に

焼くのではなく、発達の様相をみせていた印刷技術を用い作成したところ、印刷の網点だけが強調されることとなり、逆に人々から不評を買い、衰退の一途を辿りました。

## 立体写真は誰が撮影したのか・・・

今回展示される写真作品の撮影者はほとんどわかっていません。またわかっていないとしてもそのプロファイルまでは十分解明されていません。今出品作品のほとんどはアメリカで製作され、欧米向けに販売されたものです。ですから明治の日本を撮影したものであっても、私たち日本人が「明治」と聞いてイメージするものとはかけ離れ、古来の日本の伝統的なもの一例えば神社仏閣や安芸の宮島などの風光明媚な場所、日本の重要な輸出品目であった「絹」「茶」などの生産風景、日本の伝統的な風習一例えば、挨拶の様子や芸者の姿一など、現代の私たちからは少々首を傾げたくなるも



立体めがね

のがほとんどを占めています。日本人の目で、最新の日本を伝えるのではなく、外国人の目でエキゾチックな日本を撮ったものである、と考えることができます。

明治期に来日した外国人は多くの紀行文を残しています。それら紀行文を紐解くと、現代の旅行者がするようにガイドブックを参考に日本を回っていることがよくわかります。そしてガイドブックに従って旅行した先と、立体写真の撮影箇所は不思議な位の一致を見せています。

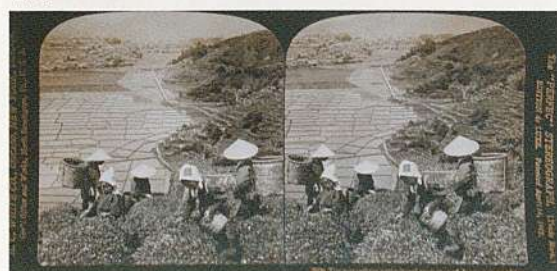
皆さんも是非この立体写真館で明治日本に足を踏み入れたエトランゼとなって、明治日本の名所や伝統的な風俗の世界を旅してみませんか。焦点が合い、写真が浮き上がったときには、思わず「あつ」と声を出さずにはいられないでしょう。残念ながらこの迫力だけは、紙面ではお伝えすることができませんが・・・



あいさつ



宮島



茶摘み

愛知万博 開催記念 **百年前\*体験博** 開催期間 2005年3月12日(土)～11月27日(日)

## 百年前の「のりもの」

明治天皇、昭憲皇太后御料車内部特別公開 <鉄道局新橋工場>

ともに鉄道記念物に指定されている明治43年製造の明治天皇御料車と明治35年製造の昭憲皇太后御料車の内部を期間中特別公開します。

内外装は漆塗りで、内部は彫刻・螺鈿・七宝など当時の最高水準の工芸技術が盛り込まれています。

公開時間については、お問い合わせ下さい。



昭憲皇太后御料車内部

明治天皇御料車内部

## 明治の乗り物に乗ってみよう

村内に動態保存されている蒸気機関車9号・12号と京都市電をはじめ乗合馬車、オーディナリー型自転車などの乗り物に実際にご乗車いただけます。

## 百年前の「生活」

百年前立体写真館 <千早赤阪小学校講堂>

1900年前後の日本や世界の風景、生活、産業などをテーマごとに分けて立体写真で紹介いたします。

明治のくらしよす体験 (常設展示) <三重県庁舎>

榻かつぎや、ろうそく・ランプの明るさ体験など百年前のくらしを体感していただけます。



立体写真 (七宝絵付け)

## 百年前の「グルメ」

明治のグルメを様々な形で楽しみいただけます。

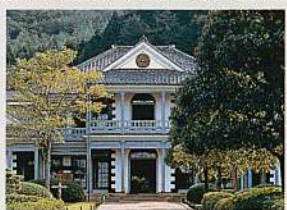
明治のグルメ本、村井弦斎による「食道楽」レシピからうまれた「食道楽のコロッケー」「食道楽のカレーぱん(4/28オープン)」、明治の料理本「日用西洋料理法」の「チキンカレー」、また、「明治の駅弁」、明治時代の調理法そのままの「牛鍋」、日本初のカクテル「デンキブラン」などもご賞味いただけます。



食道楽のコロッケー

## 「明治村住民登録」はじまる

村内のお気に入りの建物を選んでいただき、その建物写真と本人写真、そして小沢昭一村長のイラストの入った明治村住民登録票(年間パスポート)を発行します。入村が1年間無料になるほか、駐車料金が平日無料、土日は300円引きとなります。



### 登録料金

大人3,000円、65歳以上、高校生2,000円、小中学生1,000円

受付場所 東山梨郡役所アートショップ (2丁目16番地)

### ★ 明治村村長室開設 ★

東山梨郡役所内に「明治村村長室」を開設します。ここでは著書、初代村長 徳川夢声氏、2代目村長 森繁久彌氏の写真などの展示のほか、小沢村長が明治村について語ったラジオ番組も聞くことができます。



### ★ 乗物一日券 新登場 ★

村内の蒸気機関車、京都市電、村営バスが乗り放題になる「乗物一日券」を発売します。また入村料と乗物一日券のセット券「乗物一日券付入村券」も窓口にて発売します。

「乗物一日券」 大人800円、小学生500円

「乗物一日券付入村券」 大人2,200円、65歳以上1,800円、高校生1,600円、小中学生1,000円

### ★ 芝川邸復原プロジェクト ★

10年前の阪神大震災で半壊した旧芝川邸をボランティアとともに3ヵ年計画で復原するプロジェクトを本年から開始いたします。

※ダンパー（damper） 空気調和や換気において用いられる風量調節および閉鎖用の羽根、または板状の扉。ダクトの途中や吹き出し口、吸い込み口に取り付けられて風量の調節に用いられる。



③外科病室の天井



②個室中廊下の天井



①トイレの天井

この病院は、衛生に配慮した換気システムが取り入れられているのが一つの特徴です。俯瞰した写真を見ると、三つの越屋根①トイレの天井②個室中廊下③外科病室の二室の中（レントゲン「ダイアナ号」展示室）があります。

## 換気の工夫

名古屋衛成病院（4丁目37番地）は、明治十年頃、名古屋城三の丸に建設されました。戦後は国立名古屋病院の施設として用いられ、取り壊しに際し管理棟と病棟の一部等が明治村に移築されました。この病院は管理棟の左右から直角にのびる渡廊下に六つの病棟が平行に並び、パビリオン形式の病院としては初期の頃のものと言われています。構造は木造瓦葺平屋建です。当時は松材や樅材を用いると、木材から発生する過酸化水素による殺菌効果で、入院患者は膿毒症などの症状から免れる利点があると考えられていました。



管理棟 病棟

## 汐留火力発電所煙突基礎

工部省品川硝子製造所（4丁目45番地）前庭にある八角形に積まれたレンガは、新橋駅に付随する工場群の電力供給のため建設された火力発電所の煙突の基礎部分です。明治五（一八七二）年、日本初の鉄道駅として開業した新橋駅には、待合室やプラットホームといった旅客輸送に直接関わる施設のほかに、機関車の修復を行う工場や、外国人技師の官舎などがありました。これらの施設は明治三十年以降の東海道線の複線化などに伴い、次第に機能を拡充していきました。特に工場施設が整い、車両のメンテナンスのほか、信号機や膨大な数の車両の部品に至るまでを製造するようになり、さらに各地の鉄道車両の製造・修理も同時に受け持つようになったため、鉄道網が広がるにつれ作業量は飛躍的に増大していったのです。



## 呉服座の太鼓櫓

呉服座（4丁目49番地・重要文化財）正面の切妻には太鼓櫓があります。「やぐら」とは、もともと弓矢などの武器を入れる倉、つまり矢倉から出たと云われ、古くは、城郭建築で敵に対して弓矢・礮などによる防戦や物見のために建造されたものが、後に歌舞伎や人形浄瑠璃の劇場の正面出入口の屋根の上にもせられるようになりました。江戸時代には、幕府・奉行所の許可を得た芝居小屋のみが歌舞伎興行を許され、その官許の興行権所有のしるしとして、座元（興行の責任者）は小屋に櫓をあげ、櫓の三方に座の定紋を白く染め抜いた櫓幕を引きまわしました。櫓の中には太鼓が据えられ、興行の開始・終了の合図としても使われましたが、座元としてもっとも有名な江戸三座では、正月元日や歌舞伎の顔見世初日である十一月朔日に太鼓が打ちならされました。櫓前方の2本の柱に立てられた御幣（幣束）は「梵天」とも呼ばれ、櫓が元来神を招き入れるために天へ向けて高く掲げられたものであったことを示しているといわれています。すなわち芸能の場は「まつり」の場であるゆえに、そこに神を招き迎えねばならないと考えられたのです。観客である庶民も、天高く櫓を仰いで天下泰平と芝居の繁栄を祈り、歓楽の一日の安心を得ていたようです。



呉服座

## ★開村40周年記念★

### 明治村開村40周年記念イベント

- 明治村開村記念日 3月18日  
40周年を記念して、全ての来村者を対象に40年前の大人入村料（100円）にてご入村いただけます。
- 40周年記念奉祝祭 3月19日 11:00~ 〈鉄道局新橋工場内〉  
40周年の記念奉祝祭を「明治神社」にて開催します。
- 40周年記念式典 3月19日 13:00~ 〈聖ザビエル天主堂〉  
小沢村長を迎えて、開村40周年の記念式典と明治村の歌「明治村から」の発表会を開催します。



明治神社



聖ザビエル天主堂

### 明治村の歌「明治村から」CD発売

明治村村長の小沢昭一歌・作曲、永六輔作詞による明治村の歌がCD発売されます。  
価格：1,500円（税込）  
〈コロムビアミュージックエンタテインメント（株）〉  
収録曲：① 明治村から ② 人を恋うる歌 ③ 真白き富士の根 ④ 青葉繁れる ⑤ 牛若丸 ⑥ 美しき天然



### 「別冊太陽」明治村開村40周年特集号『開国一五〇年 明治かがやく』発売



価格：2,520円（税込）（株）平凡社

### 明治村開村四十周年記念 明治村茶会

4月14日・15日・16日（予約制）  
明治建築を利用した毎年恒例のお茶会です。今回は開村40周年を記念して3日間の開催となります。

坐漁荘・亦楽庵席／京都・表千家不審菴  
学習院長官舎席／東京・財団法人三井文庫  
日本庭園・野点席／加賀・前瑞雅峯



坐漁荘



学習院長官舎

日本庭園・野点席

### 国際建築トリエンナーレ2005 in 明治村 メインテーマ「～伝える～ 日本の建築文化」

- 講演会  
〈期日〉 平成17年6月11日（土） 13:00~14:15  
〈会場〉 呉服座  
〈テーマ〉 「～伝える～ 日本の建築文化」  
〈講師〉 藤森照信氏
- 展示会  
〈期日〉 平成17年6月5日（日）～19日（日）  
〈会場〉 帝国ホテル中央玄関および東松家住宅  
武田五一デザイン展～建築作品、家具等  
瀬口哲夫デッサン展～「街の歴史建築を訪ねて」原画展  
帝国ホテルに見るF.L.ライトのものづくり展



呉服座内部



帝国ホテル



帝国ホテル内部

主催：（社）愛知建築士会  
お問い合わせは（社）愛知建築士会 TEL 052-261-1451  
URL：http://www.asanet.or.jp/aichitaikai/